2021年 5月 15日 No.205　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第205号
郵政産業ユニオン PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

郵政の体質改善は急務

切手着服事件３年の実刑判決出る

5月11日の新聞によると、東京地裁は5月10日、約1億7千万円分の切手を着服して金券ショップで換金した芝郵便局の元会計担当課長に対し、懲役3年の実刑判決を言渡しました。

これは会社が昨年11月30日に刑事告訴していたことへの判決です。判決で裁判長は「被害が大きく、常習性もはなはだ顕著で厳しい非難に値する」と指摘しています。

この着服事件は発覚した時点で職場では「金額がハンパではない」という声があがっていました。

遊びのため横領や窃取

4月に長崎市内の郵便局で元局長が顧客から10億円をだまし取っていた事件がありました。金は遊行興費に使っていました。芝局の元課長も換金した金で交際相手との関係を維持する目的で使ったとしており、自分の遊びのために郵便局を食い物にしていたのだから呆れます。真面目に働く者にとっては怒りをもちます。何でこういう人が役職につくのでしょうか、周りにいた人は何をしていたのでしょうか。

一般企業では考えられない

日本郵便によると、昨年1年間の横領や窃取は21件3、7億円、うち2億円以上が局長など管理職としています。新聞には「一般企業では考えられない不正のまん延である」と書かれています。

かんぽの不正営業では上に甘く下に重かった処分発令、上の役職についた人が急に下の人を見下す態度や、傲慢な態度になる人が実に多い郵政の職場、こうした体質を変えていかなければならないことを教えてくれた今回の実刑判決です。

郵政ユニオンと一緒に声をあげていきましょう。

最低賃金引き上げを

5月15日、最低賃金の引き上げを求める宣伝を新宿駅東口のアルタ前で12時～13時まで行いました。昨年はコロナ禍を理由に据え置かれましたが、今年はそれを許さず大幅引き上げをかちとろう。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか